

## 小屋閉め 下山

最後の1枚となった小屋玄関の雨戸を閉めようとしたとき、やはりなんとも言えない気持ちがかみ上げてきた。登山シーズンが終わり、御嶽飛騨頂上の五の池小屋は来年の春まで閉鎖。そして僕らは今日下山する。

小屋閉めをするには、長い冬の間雪や風から小屋を防ぐための作業が山ほどある。小屋閉め作業は全く気を抜けない。もしここで手を抜けば、来年の春に無事に小屋と再会できる保障はない。真冬の御嶽に吹く風は尋常でなくすさまじいのだ。壁にわずか1ミリの隙間があったとしても、その風とともに雪が小屋の中に容赦なく進入し、やがて凍る。過去には、入り口のドアの一つが猛烈な風で吹き飛ばされ、小屋の中に50センチ以上の雪が降り積もったこともあった。ここでは常識を超えることが起きる。それを知っているが故、作業中は今シーズンを振り返って感傷に浸る暇もなかった。

しかし、終わりはついにはやってきた。御嶽ともしばしのお別れである。来年もまた同じ場所に同じように花が咲き、池や川が同じように輝き、同じように鳥たちが歌ってほしい。願うのはそれだけ。最後の雨戸をほめ、小屋にお辞儀をした。そして僕らは、約半年間過ごした御嶽山を後にした。

(写真・文市川典司)

# 五の池 小屋だより

